

情報モラルの指導

富山県総合教育センター科学情報部
研究主事 森田 正 範

(この資料は <http://jyoho.el.tym.ed.jp/cms> にあります)

情報モラルの指導については、その必要性が年々高まっている。しかしその実習指導となると、その方法も含めてなかなか難しいのが実状である。

当センターの初任者研修会(情報教育)では、先日「情報モラルの指導」の演習を実施した。これは、対象が初任の教職員であるため、生徒への指導とは趣を意にするものである。しかし教科「情報」の実習指導については参考になる部分もあると思われるので、ここで紹介することとした。生徒向けにアレンジするなど、実習の参考にいただければ幸いである。

1, 目的

Web上のコミュニケーションについて実際に体験し、児童生徒の心境を探る。またWeb上のコミュニケーションの特性について検討する。

2, 内容

Web掲示板でメッセージのやりとりをする。一連のやりとりの中で、Web掲示板における指導のあり方について考察する。

3, 方法

(1) 模擬掲示板を準備する。

- ・イントラネット内に10個の掲示板を用意する。

(参考サイト)「Kent Web」掲示板のフリーソフト <http://www.kent-web.com/index.html>

「ホームページ作成_掲示板の設置方法」より http://www.mars.sannet.ne.jp/monpi/tom_hp07.htm

(2) 参加者(約40名)全員でくじ引きをし、班分けをする。

- ・くじ引きでは「1班のAさん...1A」というように1A~10Dまでを割り当てる。
- ・匿名性を保つため、誰がどの班になっているかは分からない状態にする。

(3) 掲示板のやりとりを開始する。

- ・隣との私語は一切禁止、目の前のPCと自分だけの状況を想定する。
- ・できるだけ生徒の心境でやりとりすることとする。

(4) 「荒らし役」を指定し、徐々に荒らしをするように指示する。

- ・「只今より各班Aの人、徐々に『荒らし』になってください」

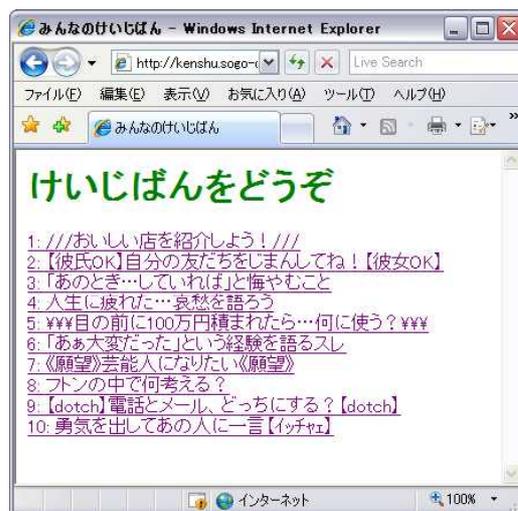
(5) 「荒らし役」の人に対して、「荒らし役」は去って同じ掲示板に戻るよう指示する。

- ・「Aの人、『荒らし役』はこれで去ってください。別名で同じ掲示板に戻ってください」

(6) 掲示板を利用する子どもの心の状況について考察する。

またWeb上のコミュニケーションについて、どう指導すればよいか検討する。

- ・各受講者の考察についてはWeb上に投稿する形をとる。そのことで受講者間での意見共有ができる。また研修担当者がメンターとなり、受講者の投稿に対してコメントをつける。



この研修においては、e-ラーニングの仕組みであるmoodleを活用した。(資料提示、投稿等)

